

「心を通わせ、息を合わせる」

副校長 今井 洋登

10月30日は、赤坂小学校の開校記念日でした。平成5年4月に、氷川小、赤坂小、檜町小の3つの小学校の伝統を引き継いで統合し「港区立赤坂小学校」として新たに船出してから28年が経ちました。

10月26日の開校記念集会では、校長から赤坂小学校の歴史についての講話を聞き、運営委員会の児童が作成した、赤坂小に縁のある勝海舟や山田耕作についての動画を視聴しました。また、28日には6年生が、息のぴったり合った素晴らしい威臨太鼓の演奏を披露しました。一口に「息を合わせる」といっても、簡単にはできません。一人一人の技能の向上はもちろんのこと、友達の目を見て、音を聴いて、呼吸を感じて、初めて心が通い、息が合うようになります。そのために、6年生は、9月から2か月間、妥協せず一生懸命練習に練習を重ねてきました。威臨太鼓の素晴らしい演奏は、6年生全員の「努力の結晶」であり、だからこそ聴いた人の心を打ったのだと感じました。

さて、12月は、3年ぶりとなる学芸会を開催します。どの学年も、台本ができ上がり、教室で音読したり、役を決めたりしながら活動を進めています。

学芸会は、同じ役を何人もの児童が演じます。担任の先生は、「どの子も一人一人が主役」という思いで台本を作成していますが、役によっては台詞が短いこともあります。

しかし、台詞は短くとも、「簡単だ」「楽だ」ということはありません。台詞が劇を見ている人に届くよう、話す速さや間、声の大きさなどを工夫したり、体を使って演技をしたりしながら、自分の役に責任をもって取り組むことが大切です。また、劇は一人では完成しません。友達の台詞を聞き、演技を見ながら、台詞や歌を合わせるなど、心と心を通わせて息を合わせることで、観ている人の心を震わせる劇を作り上げることができます。だからこそ、「一人一人が大切な主役」なのです。

ご家庭でも、お子様と一緒に台詞の練習をしたり、励ましたりしていただければと思います。

* * * * *

東京都が適用していたリバウンド防止措置期間が24日で終了しました。感染状況も落ち着いた状況が継続しています。しかし、赤坂小学校では、引き続き感染症対策の徹底を図り、子供たちが安心して教育活動に取り組めるよう尽力していきます。ご家庭でも、お子様やご家族の検温や体調管理を行っていただくとともに、マスクの着用をお願いいたします。

11月行事予定

1	月	朝会 委員会活動(11月分)	▲
2	火	安全指導・点検 箱根移動教室説明会	▲
3	水	文化の日	▲
4	木	体育朝会	▲
5	金	通知表配布日	▲
6	土	休業日	▲
7	日		▲
8	月	朝会(図書委員会) 読書週間始 あいさつ週間始 移動教室事前検診	▲
9	火		▲
10	水	B時程4時間 移動教室始	▲
11	木	移動教室終	▲
12	金	生活科校外学習(1・2年) あいさつ週間終	▲
13	土		▲
14	日		▲
15	月	朝会 巡回相談 給食試食会①	▲
16	火	集会 給食試食会②	▲
17	水	B時程5時間授業 給食試食会③	▲
18	木	集会(ユニセフ) 給食試食会④ 避難訓練	▲
19	金	読書週間終 給食試食会⑤ B時程4時間	▲
20	土		▲
21	日		▲
22	月	朝会 クラブ活動(11月分) 生活科校外学習予備日(1・2年)	▲
23	火	勤労感謝の日	▲
24	水	B時程5時間授業	▲
25	木	音楽朝会 避難訓練予備日	▲
26	金		▲
27	土		▲
28	日		▲
29	月	朝会 委員会活動(12月分)	▲
30	火		▲

▲は放課後遊びなし、○はあります。

11月の生活指導目標

「力を合わせて仕事をしましょう」

生活指導部 福島 陵

緊急事態宣言が明け、徐々に学校生活にも日常が戻り始めています。授業でも休み時間でも、日々の係活動や委員会活動、また行事などを通して、子供たちが協力して仕事に励む姿が見られます。クラスや学校をよりよくするためにどうすればよいか、仲間と一緒に考えて働く姿は、学校でこそ培われる力です。ぜひご家庭の中でもお手伝いなどを通して、一緒に仕事をする経験をしてほしいと願っています。